

## 地域活性化事業の創設

新たに設けられた「地域活性化事業」では以下の事業が交付対象となります。

<p><b>地場産業支援事業</b></p> <p>地域特有の産品等の開発及び普及その他地域の産業振興に資する事業</p> <p>情報提供・発信事業 特産品開発促進支援事業 産業技術実証・導入事業 地域内就業支援事業</p> <p>例 特産品パンフレット等の作成 特産品開発のための講師招聘、工場視察 就職情報交流会の開催 等</p>  <p>深層水PR事業 〔富山県〕</p>	<p><b>地域資源利用魅力向上事業</b></p> <p>地域の特性を活用して当該地域の魅力を向上する事業</p> <p>情報提供・発信事業 観光資源開発事業 地域おこし事業 伝統、芸術その他文化の保護・継承事業 イベント支援事業</p> <p>例 観光パンフレット等の作成 観光地開発のための実地調査、アンケート調査 伝統芸能フェスティバル、美術展覧会の開催 等</p>  <p>観光パンフレット作成事業 〔山梨県北杜市(旧須玉町)〕</p>	<p><b>福祉サービス提供事業</b></p> <p>地域における福祉サービスを提供する事業</p> <p>情報提供・発信事業 老人福祉事業 身体障害者福祉事業 育児支援事業 保育事業 医療施設、社会福祉施設等運営事業</p> <p>例 老人ホーム、託児所、保育所、病院等の運営費 ホームヘルパー 福祉サービスに携わる職員の人件費 育児講習会の開催 等</p>  <p>非常勤医師受け入れ事業 〔北海道天塩町〕</p>
<p><b>環境維持・保全・向上事業</b></p> <p>地域の自然環境等の維持・保全及び向上を図る事業</p> <p>情報提供・発信事業 自然環境維持・改善事業 地域森林整備事業 景観整備事業 公害防止事業 リサイクル推進事業</p> <p>例 河川、海などの汚染調査 希少動植物の保護、管理 等</p>  <p>道路周辺景観整備工事 〔群馬県上野村〕</p>	<p><b>生活利便性向上事業</b></p> <p>地域住民の生活利便向上に資する事業</p> <p>情報提供・発信事業 住民参加活動支援事業 地域内移動網運営事業 広域行政活動促進事業 公共施設利用促進活動支援事業</p> <p>例 地域巡回バス運行事業 情報提供ホームページ作成 等</p>  <p>コミュニティバス運行事業 〔島根県松江市〕</p>	<p><b>人材育成事業</b></p> <p>地域の人材育成に資する事業</p> <p>情報提供・発信事業 能力涵養事業 能力涵養施設等運営事業 国際交流事業</p> <p>例 国際シンポジウム、技術展示会、先進技術研修会の開催 地元大学進学のための奨学金 等</p>  <p>外国人講師による英語教育推進事業 〔新潟県柏崎市〕</p>

活用事例をお寄せください。「地域のひろば」で取り上げさせていただきます。

電源三法交付金に関するお問い合わせ先：経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力基盤整備課 電源地域整備室

TEL 03-3501-1749

# 生まれ変わった電源三法交付金制度

平成十五年十月に電源立地特別交付金など主要な交付金等が統合され、電源立地地域対策交付金が創設されました。統合された各交付金等の従来の対象事業に加えて、新たに地域活性化事業（ソフト事業）が交付金対象事業に追加され、幅広い事業が実施可能となりました。

## 新制度 電源立地地域対策交付金

**交付対象事業**

<b>公共施設整備事業</b>	道路、水道、スポーツ等施設、教育文化施設、医療施設、社会福祉施設などの公共施設や産業振興施設の整備、維持補修、維持運営のための事業
<b>理解促進事業</b>	先進地の見学会、研修会、講演会、検討会、ポスター・チラシ・パンフレットの制作等発電施設などの理解促進事業
<b>福祉対策事業</b>	医療施設、社会福祉施設などの整備・運営、ホームヘルパー事業など地域住民の福祉の向上をはかるための事業や福祉対策事業にかかわる補助金交付事業及び出資金出資事業
<b>給付金交付助成事業</b>	一般電気事業者などから電気の供給を受けている一般家庭、工場などに対し、電気料金の実質的な割引措置を行うための給付金交付助成事業
<b>温排水関連事業</b>	種苗生産、飼料供給、漁業研修、試験研究、先進地調査、指導・研修・広報、漁場環境調査、漁場資源調査、漁業振興計画作成調査、温排水有効利用事業導入基礎調査などの広域的な水産振興のための事業
<b>企業導入・産業活性化事業</b>	商工業、農林水産業、観光業などの企業導入の促進事業並びに地域の産業の近代化及び地域の産業関連技術の振興などに寄与する施設の整備事業や当該施設の維持運営などのための事業
<b>地域活性化事業</b>	地場産業支援事業、地域の特性を活用した地域資源利用魅力向上事業等、福祉サービス促進事業、地域の人材育成事業などの地域活性化事業

### 統合された旧制度

電源立地等初期対策交付金	原子力発電施設等立地地域長期発展対策交付金
電源立地促進対策交付金	水力発電施設周辺地域交付金
電源立地特別交付金	電源地域産業育成支援補助（県事業、市町村事業）



新たな交付金制度については「電源立地制度の概要」に詳しく説明されています。ご活用ください。  
『電源立地制度の概要』のお問い合わせ先：財団法人電源地域振興センター 広報課  
TEL 03-5562-9730 FAX 03-5562-9802  
下記ホームページ上で、この冊子のPDFデータがご覧いただけます。  
資源エネルギー庁 <http://www.enecho.meti.go.jp>  
財団法人電源地域振興センター <http://www.dengen.or.jp>  
平成16年度版は、平成17年3月末発行を予定しております。

# 「電気のあるまじじまん市」を開催

## 日本最大の物産展は今年も大盛況

去る十一月十九日(金)から二十一日(日)の三日間、千葉市の日本コンベンションセンター(幕張メッセ)にて第十五回「電気のあるまじじまん市」を開催いたしました。「日本最大の観光・物産展」として、今回も二百以上の出展市町村と約十一万人の来場者を迎えました。



ふるさとスーパードレスアップ

じまん市は、電源地域市町村の特産品の販路拡大を支援し、電力消費地の皆様に電源地域の振興と社会的役割についてご理解いただくため、毎年開催しています。出展を通じ専門家のアドバイスを受けたり、百貨店等との商談に結びつけたりすることもでき、電源地域の特産品開発などに活用いただいています。

## 新潟県糸魚川市の「えこ」がじまん市大賞を受賞

全国から出展された四十七品中、今年「じまん市大賞」に選ばれたのが、新潟県糸魚川市にある田鹿駄店の「えこ」です。素朴な味わいが百貨店のバイヤーや流通関係者に高く評価され、当日の販売も好調でした。同店の五代目店主・田鹿勝三さんにお話を伺いました。

### 老舗が生んだ新しい味 原料は決して妥協しない

「こんな素朴な商品が大賞に選ばれるなんて驚きです」という田鹿さん。壇上で表彰を受けても、まだ信じられなかったそうです。えこは日本海側などに伝わる伝統食で、鳥取の「いぎす」や福岡の「おきゅつ」のほか、秋田や山形にも似たものがあります。えこ草という海藻を煮詰め、冷やして固めただけの素朴な味で、刺身状に切って酢みそでいただきます。

田鹿駄店は安政四年(一八五七年)創業の老舗です。えこに着目したきっかけは、各地の物産展で「新潟のえこは何か」と引き合いがあったことでした。単純な食品なので、少量なら新しい機械が

棒を通じて手元に伝わる粘度を頼りに、その後の火加減を調節します。「ここだけは田鹿さんの勘と経験が頼りで、まだ他の人には任せられません。煮上がったら型に入れて冷やします。常温で扇風機の風を当て、ある程度固めてから冷蔵庫に入れます。常温と冷蔵とのバランスによっても粘り具合が変わります。単純なだけに奥が深く、まだ研究の余地があります」受賞を機に、原料や季節による違いを抑え、安定した製品を送り出す研究にいつそ力を入れていきます。味にいちばん厳しいのは、販売係の奥様だとか。「確かに厳しいですが、味覚は信頼しています。多少のロスが出て、妻には納得できるものを売ってもらいたいですから。」

まの手作りで、倍くらいまでは対応できます。機械化すれば大量生産も可能ですが、味が落ちてはしかなないと、作っただけを売って切っています。「大手メーカーと同じものは作りません。作りたいものだけを作ってきたので、大賞という形で世に認められたうれしさもひとしおです。言葉の端々に、製品への愛情と自信が感じられます。現在、店の売上は駄こんにやく、ところが九割以上ですが、今後はえこも新たな柱にしたいそうです。すでに大手デパート数社から引き合いがあり、今後に期待がかかります。えこを加えたセット商品も新たに発売しました。

## 皆さまから寄せられた義援金をお届けしました



電気のふるさとじまん市会場内において、全国各地を襲った「台風による風水害」や「新潟県中越地震」への義援金を募りましたところ、多くの皆さまより総額70万8781円が寄せられました。(財)電源地域振興センターでは、11月22日に日本赤十字社・渡辺赤十字社員課長(写真右)へ、この浄財をお届けしてまいりました。

いい原料をたっぷり使った手作りの味を守り抜く

現在、月産三千〜四千パック。今のま

料金を取人私  
アーキビル内局承認  
402  
発行有効期間  
平成18年8月28日まで  
お手紙は必ずお返しく下さい

107-8740

東京都港区赤坂1-12-32  
アーキビル11階

財団法人  
電源地域振興センター  
「地域のひろば No.189」編集室行

1078740

アンケートにご協力ください  
アンケートが裏面にございます

「地域のひろば」編集室では、新編づくりに活かすため読者の皆様のお声をお待ちしております。

アンケート用紙の裏面に沿ってはさみなどで切り取り、アンケートに記入の上二つに折込みのりしろ部分にのりをしっかりとつけはさみ切は、ポストにそのまま封筒に入れてください。  
(フックスで送られる方は、コピーをとってお送りください)

FAX 03-5562-9802  
e-mail kouhou@dlv.dengen.or.jp



新大分発電所

URL <http://www.dengen.or.jp>



単純だけに奥が深い  
五年かけて編み出した製法

製法は至ってシンプルで、えこ草を三分煮て冷やすだけです。しかし、この



わずかな時間に田鹿さんの創意工夫が詰まっています。「三十分の間に何をすればよいか、五年目でようやく分かりました。火加減やふたをする時間を少し変えただけで、味がまるで違うのです。原料の質や、季節によっても微妙に調節します。この合いを見てほんの少しだけ練り、



お問い合わせ先  
有限会社 かざま屋 田鹿駄店  
〒941-0058 新潟県糸魚川市寺町1-1-21  
TEL 0255-52-0203 FAX 0255-52-2036  
<http://www1.ocn.ne.jp/~tazika/>

